

令和6年度「共に都井の子どもを育む学校評価」

都 井 小 学 校				現状及び課題解決に向けての協議	
評価項目	評価の具体的内容	到達目標・評価基準	学校評価	現状に対する ご意見・ご感想等 「○良い」「●改善が必要」「△検討が必要」	今後の改善策
学 力 向 上	【授業改善等による学力向上】 ○「ひなたの学び」を意識した都井小スタイルの確立及び複式指導の充実 ○ 経年変化による学力調査分析や取組の工夫・改善 【家庭学習の充実・支援】 ○ 低学年 3 0 分、中学年 1 時間、高学年 1.5 時間の家庭学習を指導 ○ 夏季・冬季・学年末休業中における計画的な家庭学習のサポート	□ 单元ごとの形成テストで、達成目標点数（約 8 0 点）を上回る児童数 7 0 % 以上（AI ドリルの活用） □ 家庭との積極的な連携の工夫（読み声の実施・メディアコントロールの啓発・タブレットの持ち帰り活用等） □ 年間図書貸し出し冊数 1 人 5 0 冊以上の達成 □ 課題の提出及び学習時間の達成率 7 0 % 以上	3. 3	○ 学力向上への取組が年々アップし、行き届いた学習指導が成果を出している。今後のさらなる学習指導により、落ちこぼれる子どもがいないように取り組んでほしい。【評】 △ 課題の提出及び学習時間の達成率 7 0 % 以上は素晴らしいと思うが、さらに数値が上がってくるとよい。【評】 ○ 図書館の利用率は高く、年間 5 0 冊以上借りている児童がほとんどであることは素晴らしい。ぜひ今後も読書に励んでほしい。【評】 ● 家庭学習の時間の少なさが市全体でも課題となっているため、基礎・基本の定着を目指した家庭学習の工夫が、今後も喫緊の課題である。	○ 各種学力検査結果の分析に基づいた全体的な取組と児童の実態に寄り添ったきめ細かな取組を行っている。 ○ 書くことによる学習効果に加え、タブレット（AIドリル）の効果的な活用により、個人差に対応した学習の充実を図る。 ○ 習熟の時間の効果的な活用について、再度検討し基礎的・基本的な内容の習得（ドリル学習）を重点指導とする。
生 徒 指 導	【積極的な生徒指導】 ○ いじめや体罰は絶対に許さない体制の構築と不登校や問題行動の予防 【人権・特別支援教育の充実】 ○ 人権・特別支援教育への意識向上を図るための研修の充実 【あいさつ・言葉遣い】 ○ 「明るく元気なあいさつ・会釈」と「時と場をわきまえた思いやりのある言葉遣い」の指導の徹底 【地域との連携】 ○ 臼太鼓踊りへの参加 ○ 異世代交流ふれあいスポーツ大会及び諏訪浜清掃の実施 ○ 秋まつりパレードへの参加 ○ 地域ボランティアによる「読み聞かせ」の定期的な実施 【地域学校協働活動の充実】 ○ 地域の人材・素材を積極的に授業に取り入れるとともに、学校の情報を積極的に発信し、地域と結びあう学校づくり	□ 月に 1 度の意識調査実施と結果を受けての対策委員会の実施 □ いじめや不登校を未然に防ぐこまめな児童観察と校内体制の充実 □ 特別支援教育・人権教育についての研修（オンライン研修年間 3 回以上）を実施するとともに、学期 1 回程度の校内就学指導委員会の実施 □ 人権や命に関する外部機関との連携 □ 職員室等入室の際のあいさつ指導の継続 □ 保護者、職員の満足度（挨拶、言葉遣い）5 段階で、自己評価 3 以上が 1 0 0 % □ 地域の祭り（火祭り）への伝統芸能の継承者としての参加（5・6 年生） □ 異世代間が交流し、地域のよさを知るとともに、地域に生きる喜びを感じる場の設定 □ パレードへの参加をとおした郷土を知る意識の向上と募金活動の実施 □ 「読み聞かせ」の定期的な実施による読書率の向上及び生涯に渡る読書好きの児童の育成 □ 地域の人材・素材を取り入れた授業（平和学習等）の実施 □ 地域への学校便り配付とホームページによる学校生活の配信	3. 6	○ いじめ等の問題行動、不登校等は全国的に大きな問題となっているため、今後、問題行動等の未然防止に向けて、家庭・学校との連携を密にしていきたい。【評】 ○ 児童の抱える不安や悩みを把握し、早期発見と早期解決につなげるように、アンケートや教育相談を月に 1 度実施している。懸念される事案については、全職員の共通理解と協議により解決に向けて対応している。 ○ 地域の中でも、元気よくあいさつをしてくれる明るい児童が多い。【評】 ● 朝の登校時のあいさつは、もっと元気があってほしい。【評】 ● あいさつは学校の責任ではないが、人々との信頼を深め、助け合いの心を育てる意味からあいさつの目的の周知をお願いしたい。【評】 ● あいさつに関しては、とても良いと思う。しかし、恥ずかしいことだと思っている児童も少なからずいることが残念である。【評】 ○ 地域の人材を活用した平和学習を、高学年を対象に実施したことで、命の尊さや平和の大切さを学ぶことができ、大変有意義であった。 ○ 地域との連携は頑張ってくれていると思う。臼太鼓踊りにおいては、子ども達の協力が必須なので継続してほしい。【評】 ○ 学校日より等が回覧板に入っているのは、地域の方も確認できてよいと思う。【評】	○ 生徒指導面に関しては、今後も日々の観察や児童への意識調査、職員同士の情報交換に加え、保護者や地域からの情報をもとに、計画的または臨時に問題解決に向けた対応に努める。 ○ 子ども達が主体となってあいさつをしたり、会釈をしたりすることができるように、「あいさつをすることの意義と目的」について子ども達自身にしっかりと考えさせる機会を適宜設けていく。 ○ 次年度も臼太鼓踊りや異世代交流活動の場で、地域との交流を続けていく。 ○ 次年度は、全学年を対象とした平和学習（朗読劇）を実施予定であるため、平和学習を今後も継続していきたい。 ○ 都井地区のことを誇りに思い、地域をより深く知る経験をさせるために「ふるさと学習」を充実したいと考えている。
体 力 向 上	【体力向上】 ○ 外遊びの励行を通して、進んで体を動かそうとする態度と運動の日常化を図る指導の徹底 ○ 体育の授業改善を通した体力向上の意識化 【食育】 ○ 弁当の日を設け、家庭と連携して、早寝・早起き・朝ご飯の実践など望ましい食生活の改善に努める継続的な指導 【健康意識】 ○ 命を守る正しい知識のもとに、社会の中で実践できる行動様式を定着化させる指導の工夫	□ 体力向上プランを基に、県平均よりも劣っている項目の日常化 □ 授業改善のための情報交換及びパワーアップタイムの設定、外遊びの励行 □ 学期 1 回の「弁当の日」及び「給食残菜ゼロ」の日の設定 □ 食事マナーや健康に対する意識の向上を目指した外部の機関(中学校栄養教諭等)との連携授業の実施 □ 食事マナーに関する児童相互の賞賛（賞賛カードの活用） □ 保健便りや学校保健委員会での啓発 □ 手洗い・うがい・消毒等励行 □ むし歯治療率 7 0 % 以上 □ 肥満児童への個別指導 □ 身近な人に悩みを気軽に相談できる雰囲気醸成 □ 学校保健委員会の積極的な啓発	3. 2	○ 体力向上プランはとても素晴らしい取組である。ぜひこのような取組を行ってほしい。【評】 △ 休日とか校区内で、あまり子ども達を見かけない。様々な要因があるが、外で元気よく遊ぶ姿（休日）を見たいものである。【評】 ○ 食育に関して、実際に自宅で作る姿を見ると大変そうではあるが、子ども達は笑顔で「おいしかった。」と言っている。その見ていると微笑ましい。【評】 ○ 食事マナーに関する取組の実施は、実に有意義である。【評】 ○ 学校保健委員会では、視力検査の結果や歯科検診の結果をもとに、児童と保護者で治療の必要性や日常生活の在り方について、ワークショップを行った。大変有意義な時間であった。 ● むし歯の治療に関しては、今年度も多くの呼びかけを行ったが、串間市に歯科医院が少ないことも影響して、治療率が上がらない状況であった。	○ 体力テスト結果を受けて課題となる体力の向上を図る手立てとなる柔軟体操や持久力の向上を取り入れたり、昼休みの遊び方に工夫を取り入れたりした。 ○ 肥満傾向にある児童については、個別の指導を養護教諭が行い、改善の傾向にある。各家庭の協力も得られているため、今後も継続して指導を行いたい。 ○ 串間に歯科医院が少ないこともあり、虫歯の治癒率が 3 0 % に届かない現状である。さらなる個別の呼びかけを実践していきたい。
小・中・高連携	【くしま学を核とした連携推進】 ○ 小中高が連携した子どもたちへの望ましい学習・家庭習慣の定着 ○ 小中高一貫教育関連行事への積極的な参加	□ 小中が年間を通して連携した学習習慣・生活習慣の確立 □ 5 年生合同宿泊学習、6 年生合同修学旅行(都井小・本城小・金谷小・有明小)、中学校合同学習会、キャリア教育合同学習会、かるた大会等への参加	3. 8	○ 子ども達にとって、とても良い経験だと感じる学びが多いので、市内の児童が交流して学習する活動（ふれあい体験・修学旅行・合同学習・キャリアワークショップ・金柑収穫体験など）は今後もぜひ進めていってほしい。【評】	○ 串間市全体で実施している各種体験活動に今後も積極的に参加しながら、他校との交流を深め、中学校へとつなげていきたい。 ○ 中学生とも連携した清掃活動等の実施を検討していきたい。

